第１２０回　仏教公開講座

年間テーマ

生きるって どういうこと

サブテーマ（教区御遠忌テーマ）

『眼（まなこ）をひらく　心（こころ）をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日　　時　　２０１４年6月２０日（金）午後6時３０分～8時３０分

講　　師　　海　　法　龍 氏（真宗大谷派首都圏教化推進本部員）

講　　題　　『「親鸞聖人の御意」ーいのちの相・こころの相ー』

日　　程　　午後６時３０分　　真宗宗歌・正信偈（同朋奉讃式）

６時４５分　　講　義

８時１５分　　質問の時間

８時３０分　　恩徳讃・閉会

講師紹介

海　　法　龍（かい　ほうりゅう）

1957 年、熊本県天草生まれ。大谷大学、大谷専修学院卒業。宗務所勤務（大垣教務所、出版部、東京宗務出張所・東京教務所）。1992 年退職。同年、神奈川県横須賀市にある無住寺院、長願寺（東京教区三浦組）に家族で入寺。現在、長願寺住職。首都圏教化推進本部員。サンガ編集委員。同朋会館教導。

先生からのメッセージ

生きるということは、どこかに自分自身の立ち位置を定めて歩んでいくことでもあります。そして問題は、その立ち位置がどこなのか、つまり何をするにしても「どこに立っているのか」ということが、最も問われてこなければならないことではないかと思います。岐阜教区のご遠忌も終わり、新たな歩みがはじまりました。ここに改めて親鸞聖人のお心に私たちの相（私たちの立っているところ）を確かめて参りたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける〝テレホン法話〟お電話ください。℡058-265-0033